

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2374700223
法人名	社会福祉法人一期一会福祉会
事業所名	グループホーム岩倉一期一会荘
訪問調査日	平成 20 年 4 月 25 日
評価確定日	平成 20 年 8 月 27 日
評価機関名	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 施設福祉部

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2374700223		
法人名	社会福祉法人一期一会福祉会		
事業所名	グループホーム岩倉一期一会荘		
所在地	愛知県岩倉市北島町七反田35番地 (電話) 0587-66-2120		
評価機関名	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 施設福祉部		
所在地	名古屋市中区丸の内2-4-7		
訪問調査日	平成20年4月25日	評価確定日	平成20年8月27日

【情報提供票より】 (平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ <u>平成</u>	14年	4月	1日			
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18	人			
職員数	28人	常勤	13人,	非常勤	15人,	常勤換算	23.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての 1～2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	1,600	円	その他の経費(月額)		円	
敷金	有(円)	<u>無</u>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無		有 / 無	
食材料費	朝食		円	昼食		円
	夕食		円	おやつ		円
	または1日当たり		900	円		

(4) 利用者の概要(平成20年4月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名	
要介護1	5名	要介護2	5名			
要介護3	4名	要介護4	4名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	86.9歳	最低	76歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛知県厚生農業協同組合連合会愛北病院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当グループホームは、尾張西部の岩倉市にあり、駅からも近く近隣には住宅や田・畑が広がり長閑なところにあります。
この施設を運営する法人は、特別養護老人ホーム等を多数経営する法人であり、ケアの最先端を目指しておりまた、職員も来訪者に積極的に挨拶をするなど、よく管理された施設運営であります。
また、地域に開かれた高齢者の生活の場であり、地域の方々がよく訪れ開放的に運営をされている。入居者は職員に見守られ陽気に暮らしておられる。このように、地域に根ざしたグループホームの運営がなされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回において、改善課題はなかったが、評価後において管理者・職員が一丸となってより良いケアをめざして取組まれている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者及び職員は、この評価をよく理解しており、職員全員で取組みまた、運営推進会議にて報告をし、意見をもらいサービスの質の向上に役立っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回会議を開催し、検討課題の進行状況や結果報告等を行っている。メンバーは、職員・入居者・家族・民生委員・包括支援センター等となっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱を設置しており、重要事項説明書においも、外部の苦情申立窓口や施設内での苦情処理担当者を明記し、実施されている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩の途中で地域の方が声をかけるような関わりや地域の行事に積極的に参加をされている。また、市の文化祭にグループホームの入居者の作品を展示したりしている。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「今までどおり身近にあった人と場所を大切にしたい」を大切に、「自分らしく暮らしていただく一期一会の家」というのを理念に掲げ、グループホームとしてケアに取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は、理念をよく理解し共有もしている。日々のケアについては、個別ケアを重視し取り組みを行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に積極的に参加をしている。また、散歩の途中に地域の人たちから気軽に声をかけられたりしており、地元の人々との交流が盛んに行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービスの質の向上の機会として管理者・職員は、捉えており入居者や家族からの意見を引き出せる材料として取り組みを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施されており、会議で出た課題等をどのように改善したかを報告し、常に質の向上に取り組まれている。また、広報紙の紙面構成にも意見を取り入れている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が育成している認知症サポーターを介護相談員として受入れたり、しており市町村の担当者とも連携がなされている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、グループホーム便りを発行している。また、入居者の状況報告なども個別になされている。定期的に家族に対して電話連絡も行われている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置して、家族等の意見を聞きだそうとされている。また、苦情窓口や苦情受付担当者も明記され、運営に反映できるよう体制が作られている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員に対して、事前に調査をして異動希望者などがあれば早期に対応し、入居者にダメージがないように配慮がされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修期間中の職員に対しては、各業務マニュアルが配布されている。職員の育成には積極的に取組まれている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの研修での交流をもとに、相互の問題点を話し合う機会を設け、ネットワークづくりに積極的に取り組んでいる。	○	貴法人が運営しているグループホーム等で培われたノウハウを近隣の事業所へ提供できるようにネットワークづくりを期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の方に対して、見学の回数を重ねて職員との馴染みを作り、場の雰囲気に馴染めるよう工夫されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、常に入居者の方と向き合う姿勢が感じられ、日々の生活を支えあう関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が積極的に声をかけ、本人の意向を確認されていた。また、本人の意向を優先できるような配慮がなされていた。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の意向など相談する場を設けて、意見を取り入れた計画づくりがなされている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の見直しがなされている。なお、家族の意見を取り入れ、職員同士で状況確認が行われ計画が作成されている。また、状況の変化に随時対応がなされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望に添った外出支援や隣接施設との連携にたった支援などが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域の医療関係者の理解が得られており、往診等の受診を受けることができる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と職員が話し合う機会が持たれており、家族・職員が同じ思いをもち方針も共有されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者に対して、さりげなく言葉かけをしている。個人情報については、規程がさだめられている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の入居者の役割や個性の表現の自由に配慮して日々のケアが実施されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に入居者からのリクエストが反映されており、職員の方がさりげなく声をかけ食事の場が楽しくなるように支援されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴ができ一人ひとりの希望に合わせて、入浴ができるように支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	地域の馴染みのある教室への参加やホーム内でのレクリエーションで一人ひとりの生活歴を生かした支援を実施されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	積極的に外出支援がなされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的に鍵は掛けられていない。入居者の方が外へ出ようとするときは、職員が必ず付き添うよう支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣接施設と防災委員会を設置している。定期的に防災訓練もされている。	○	防災訓練等に地元の方も参加していただけるよう依頼をし、地元と一体的に防災に取り組まれる事を期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の方のそれぞれの摂取量については、記録がされている。栄養バランスについては、隣接施設の管理栄養士が確認し、職員に助言している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木が多く取り入れられ、家具や調度を含めて全体的に自然な色形でまとめられ、落ち着いた雰囲気が漂うように工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使用していた家具などを居室に持ってきており、居心地よく過ごせる工夫がされている。		

※  は、重点項目。